

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 15 No.4 2013年2月28日号

編集: editor@cnar.jp 広告: pr@cnar.jp 読者登録: <http://cnar.jp>

Copyright 2012 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

SOBA プロジェクト、無料の Web 会議サービス提供開始、インストール不要で 100 人以上の会議も無料

株式会社 SOBA プロジェクト(京都市下京区)は、無料の Web 会議サービス「SOBA meeting(ソバ・ミーティング)」を 2 月 14 日から提供開始すると発表。(2 月 13 日)



SOBA meeting トップページ (SOBA プロジェクト 資料)



会議 (セッション) の様子 (SOBA プロジェクト 資料)

SOBA meeting は、Windows PC および Mac に対応しており、ブラウザで利用できるため、ソフトウェアをインストールする必要がない。アカウントは、Twitter または Facebook のどちらかのアカウントで利用できるサインイン方法を採用している。

また、1 会議 (セッション) の最大参加人数は無制限。だが会議室の機能としてのスライド共有 (資料共有、PDF のみ)、ホワイトボード、チャットも提供している。会議参加者は、各自 PC からプレゼン資料やホワイトボードに書き込むことができる。

SOBA プロジェクトによると、一般的な Web 会議は参加人数 (接続拠点) の上限が 20~30 人程度だが、この SOBA meeting では、2,3 人の少人数から 100 人以上の大会議でも対応が可能という。

今回、SOBA meeting は、無料サービスとして開始するが、今後はビジネスユースに必要な機能などを開発し、有料版を展開する予定という。

リコー、コラボレーションツール「リコー インタラクティブ ホワイトボード D5500」を発売、遠隔拠点との画面共有やテレビ会議画面の同時表示にも対応

株式会社リコー(東京都中央区)は、会議やブレンディングなどコラボレーションを円滑にするツールとして、新たにディスプレイタイプの「リコー インタラクティブ ホワイトボード D5500」を開発し、2 月 5 日から発売すると発表。(1 月 29 日)

リコー インタラクティブ ホワイトボード D5500 は、その場に集まったメンバーが PC やタブレット端末、スマートフォンなどの情報機器を本製品に接続するだけで、1つの大画面(フル HD 対応 55v 型ワイド、LED バックライト搭載)を見ながら共同作業をすぐに始めることができる。

また、持ち寄った資料のディスプレイ表示、電子ペン(光遮断方式)での書き込み、会議結果の保存・共有といったインタラクティブな機能のほか、会議結果のメール送信、ネットワークを経由した遠隔拠点との画面共有、テレビ会議システム画面の同時表示にも対応している。なお、画面共有においては、

オプションの「リコー インタラクティブ ホワイトボード リモートライセンス タイプ1」が必要となっている。



リコー インタラクティブ ホワイトボード D5500-オプションの専用スタンドを装着したもの (リコー 資料)



活用イメージ (リコー 資料)

リコーとしては、すでに発売されているプロジェクタやテレビ会議システムに加えて、本製品を投入することで、ビジネス現場における共同作業の効率化や組織の活性化を加速させ新しいワークスタイルを提案していく考えだ。

本製品の開発には、初期段階からエスノグラフィー手法(文化人類学でのフィールドワーク手法)を取り入れ、ユーザの活動現場で詳細な観察を実施、それを基に誰にとっても直感的で使いやすい操作性と機能を追求したという。

「リコー独自の画像処理技術」によって、図面など精緻な画面表示に対して正確な書き込みや高速で鮮明な線の表示を可能にし、また、書き込む人のイメージに忠実な、なめらかな書き心地も実現した。さらに、「独自開発のコントローラ」を採用。たとえば、電源を入れるだけですぐ書き込みが行えたり、プロジェクタのようにケーブルを接続したりするだけでソフトのインストールなしで使用できるようにした。

リコー インタラクティブ ホワイトボード D5500 の価格は、オープン価格。2013 年度の販売目標は、1,800 台。

VTV ジャパン、エイネット社製クラウド型 Web 会議システム販売開始

VTV ジャパン株式会社(東京都千代田区)は、エイネット社製クラウド型 Web 会議システム「FRESH VOICE ASP」の販売を開始した。(2月14日)

FRESH VOICE ASPは、エイネット株式会社(東京都千代田区)が開発したサーバ導入型「FRESH VOICE V5」と同じ機能を標準で利用できる Web 会議クラウドサービス。

FRESH VOICE ASP



FRESH VOICE ASP 画面例 (VTV ジャパン資料)

このサービスは、インターネットへのアクセスが可能な環境とブラウザ(Windows PC)があれば利用でき、サーバも不要。また、ユーザによってサーバ管理やメンテナンスを行う必要がなく、初期費用の面においても手軽に Web 会議を導入できる特徴がある。

FRESH VOICE ASP の特長は以下の通り。(1)音声コーデックには、GIPS Voice Engine を搭載しているため、低遅延でクリアな音声である。(2)映像コーデックについては、モーション JPEG を採用することで、ブロックノイズを排除した。(3)簡単に操作しやすい画面レイアウトとなっている。(4)共有には、デスクトップ・Web・ドキュメント・ファイル転送・チャットがある。なお、Web 会議中に資料を共有する際に、データを JPEG 化してサーバにアップロードする FRESH VOICE 独自機能を搭載している。

月額料金プランは、5 同時接続数では、40,000 円(税抜き、以下同)。10 同時接続数では、60,000 円となっている。なお、初期費用については、いずれも 40,000 円となっている。

エイネットは、自社開発 FRESH VOICE シリーズを主軸に事業を展開している。国産製品ならではの手厚いサポート体制に特長があり、官公庁、国立大学など 2,300 社の導入実績を持つ。また富士カメラ総研調べによると、Web 会議システムのトップシェアを占めているという。

VTV ジャパンは、1995 年設立以来、テレビ会議・Web 会議システムの機器販売、レンタル、保守サービスに特化したテレビ会議のマルチベンダ。全国各地および海外のさまざまな法人・団体への導入実績がある。また自社独自開発によるテレビ会議カスタマイズソリューションも提供している。

*関連記事:FRESH VOICE 販売開始 2011 年 1 月 15 日号

ビジネス動向-国内

2N TELEKOMUNIKACE 社、SIP 対応の音声・ビデオ IP インターコム製品の日本国内展開拡大を狙う - 販売代理店であるジェイ・ティ・エスと Cisco Connect Japan 2013 共同出展

2N TELEKOMUNIKACE 社(チェコ共和国、プラハ)は、2月13日から14日東京都内にて開催された「Cisco Connect Japan 2013」へ IP インターコム製品「Helios IP(ヘリオス IP)」を出展。株式会社ジェイ・ティ・エス(神奈川県横浜市)は、販売代理店としてこの出展をフルサポートした。(取材:2月13日)

Helios IP は、1ボックスで、音声・ビデオ・キーパッドなどさまざまな機能を提供する IP インターコム(IPドアフォン)製品。アウトドアおよびインドア両方のシーンで、ドアコミュニケーションやセキュリティエリアでのドアロック、ビデオ監視など向けに活用ができる。

SIP に対応しており、「Cisco Unified Communications Manager」をはじめ、その他、さまざまな SIP サーバ、

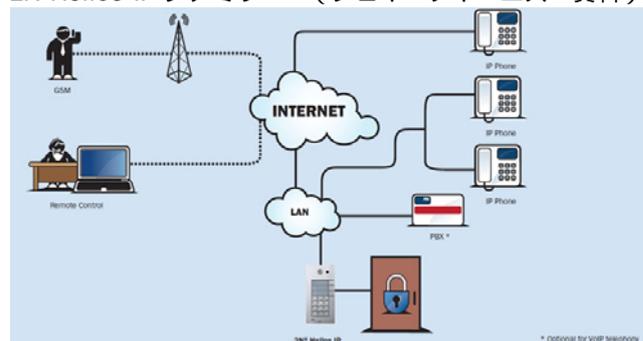
IP-PBX ともシームレスに接続が可能となっている。社内 LAN を経由して PC へ接続したり、IP-PBX を介して IP 電話機と接続したりして来客者へ対応することができる。

使用されているコーデックは、音声については、G.711、L16 オーディオコーデック、一方、ビデオについては、H.263、H.264、Motion JPEG。

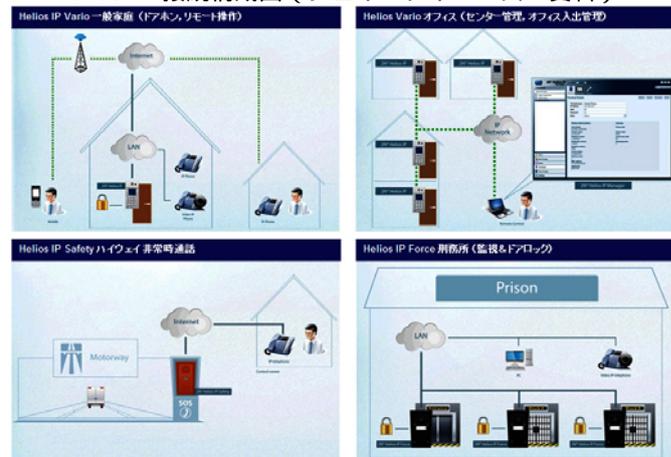
その他、Web ベースのマネージメント機能、IP 設定リモートアクセス、RFID カードリーダ機能(APM Mini Plus、オプション)。ネットワーク上で電源供給が行える PoE 対応。



2N Helios IP ファミリー (ジェイ・ティ・エス 資料)



2N Helios IP 接続構成図 (ジェイ・ティ・エス 資料)



導入ケース (ジェイ・ティ・エス 資料)

製品ラインナップは、以下の通り。(1)「Helios IP Vario」: カメラ、キーパッド、RFID カードリーダ、電子ロックなどさまざま

な機能を搭載可能な高機能モデル。オフィスエントランスや集合住宅向けを想定している。

(2)「Helios IP Force」:頑強なデザインで、広角カメラ、キーパッド、電子ロックなどを搭載可能となっている。公的機関や監視が必要なエリアへのドアホン/セキュリティ装置。

(3)「Helios IP Safety」:目立つオレンジカラーで騒音に強い 10W スピーカを搭載。シンプルにワンボタンで呼び出し操作ができる。道路、駐車場、鉄道、工事現場など屋外に設置する非常電話。(4)「Helios IP Uni」:シンプルなデザインでローコストモデルの IP インターフォン。病院・教育施設など屋内各所へ数多く設置することが可能なインターフォン端末となっている。

2N TELEKOMUNIKACE 社は、IP ソリューション製品の開発・製造を行うヨーロッパの主要メーカ。シスコ社の CDN メンバーで、SIP ベースのインターコム製品「Helios IP」や、IP オーディオシステム「2N NetSpeaker(音声ストリーミング配信)」など、シスコシステムズ製品を補うソリューションの提供に力を入れている。Helios IP や 2N NetSpeaker は、標準的な SIP をサポートし、サードパーティ製品と互換性を持って広く導入が可能という。

ジェイ・ティ・エスは、通信機器・半導体製品等の輸入販売、技術サポート、保守サービス、また外資系企業へのコンサルティングなども行っている。2004 年設立。

製品・サービス動向-国内

Zip Conferencing 社、電話会議開催前から終了までサポートするオペレータ・アシスト電話会議サービスの開始

Zip Conferencing 社は、オペレータ・アシスト電話会議サービスの開始を発表した。(1 月 28 日)

オペレータ・アシスト電話会議サービス「Operator Assisted Conference Call」は、電話会議の開催前から終了までサポートするサービスで、電話会議の予定設定から、電話会議の議題や内容についての調整、参加者の会議

室への接続、会議中のミュート、Q&A や投票、録音とアーカイブ・トランスクリプト(会議で交わされた会話をテキスト化したもの)、などを提供する。また、会議中は、その会議とは別の回線で、その会議の主催者(ホスト)と常時接続して、サポートなどが必要な時に連絡しあえるようにしておくことも可能だ。

オペレータ・アシスト電話会議サービスは、株主や投資家との会議、社内会議、規模の大きい顧客向けのイベントなどでの活用に適していると同社では説明している。

ビジネス動向-海外

ブイキューブ、インドネシアに現地法人を設立、インドネシア語でのサービス展開を強化

株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)は、インドネシアに現地法人を開業し、インドネシアに進出している日系企業や現地企業に対して 2 月より本格的にサービスを開始すると発表。(1 月 30 日)

すでに提供をしているインドネシア語でのサービスのほか電話による顧客サポートなどを提供する予定。さらに、日系企業や現地企業のニーズに応えるサービス化も進めていく。

インドネシアは、人口が世界第 4 位の規模で高い経済成長が見込まれている。またインターネットの普及も急速に進んでおり、ビジネス現場での活用が進んでいるという。

そういった中で、他国とつなぐ国際間のインターネット回線は費用が高く、また帯域も充分ではなく、遅延やパケットロスなどが起こっており、日系企業や現地企業にとってインフラ確保が課題になっている。

このような背景から、モバイル端末でも利用でき、国際間での安定した通信環境確保といったサービス展開を進めている「V-CUBE」サービスのインドネシアにおける親和性は高いと同社では考えている。

安定した通信環境でのサービス利用を実現する「Global Link(グローバルリンク)」は、インドネシアが対応国のひとつになっており、国際間コミュニケーションを必要とする日系企業や現地企業にとって安価でサービスを提供できる。また、「テレビ会議システムとの連携機能」も提供しており、既存の設備

を活用しながら、ユーザはコミュニケーションインフラを強化できるとしている。

Vidtel 社のクラウド型テレビ会議サービス、WebRTC に対応

米 Vidtel 社は、同社のクラウド型テレビ会議サービスが、WebRTC に対応したと発表。(1月30日)

WebRTC は、ブラウザのインターフェイスで、音声・ビデオ・データ共有が行えるオープンソース技術。この度、Vidtel 社は、「Vidtel MeetMe」や「Vidtel Gateway」を WebRTC に対応させることで、Vidtel のサービスを利用するユーザは、SIP・H.323・Google Talk・Skype・WebRTC の間で、お互いのプロトコルの違いにかかわらず、テレビ会議をシームレスに行えるようになる。

AT&T 社とポリコム社、ビデオ会議のパーソナル化・モバイル化・仮想化において戦略的合意

米ポリコム社は、米 AT&T 社とビデオ会議のパーソナル化、モバイル化、仮想化において戦略的合意に達したと発表。(米:1月15日、日本:1月25日)

あらゆる組織がビデオコミュニケーションおよびそれを活用した業務プロセスの導入を加速できるためには、ビデオ会議のパーソナル化、モバイル化、仮想化を推進することが重要な鍵を握るとポリコム社と AT&T 社は考えている。

AT&T 社の「Business Exchange」「MPLS」「インターネット接続サービス」「モバイルネットワークサービス」と、ポリコム社の「Polycom RealPresence プラットフォーム」を組み合わせることで、クラウド型ビデオコミュニケーション機能が大幅に向上し、コラボレーションのタイミング、方法、場所をこれまで以上に幅広く選べるようになるという。

なお、Polycom RealPresence プラットフォームは、オンプレミスまたはクラウドでのユニバーサルビデオコラボレーションを提供する包括的なソフトウェアインフラストラクチャ。幅広いアプリケーション・デバイス・ネットワークプロトコルと相互運用できる。

ITU、H.265 の承認を発表

ITU(国際電気通信連合)は、H.264/ MPEG-4 AVC の後続フォーマットとして、H.265 (ISO/IEC 23008-2)を承認したと発表。(1月25日)

H.265 (ISO/IEC 23008-2)は、H.264/ MPEG-4 AVC の半分のビットレートで同等の品質の映像を送受信できるとしている。なお、この H.265 (ISO/IEC 23008-2)は、HEVC(High Efficiency Video Coding)としても広く知られている(known informally)。モバイル端末から4K テレビまで幅広い ICT 製品に採用されると期待されており、今後 10 年のビデオを支えるコーデックと目されている。

今後、この HEVC は拡張される予定という。12bit ビデオや 4:2:2 と 4:4:4 クローマフォーマットのサポートのほか、SVC(Scalable Video Coding)、3D ビデオコーディング、ステレオスコピック(立体視)なども計画されているようだ。

ClearOne 社、ビデオ会議ソリューションのディストリビューション契約を Starin Marketing 社と VSO Marketing 社それぞれ拡大

米クリアワン社は、Starin Marketing 社と VSO Marketing 社とそれぞれ、クリアワン社の「COLLABORATE」ビデオ会議ソリューションのディストリビューション契約を拡大したと発表。(Starin Marketing 社:1月22日、VSO Marketing 社:1月29日)

今回のディストリビューション契約の拡大によって北米市場での COLLABORATE ビデオ会議ソリューションの販売強化を狙う。

COLLABORATE は、ソフトウェアベースの HD ビデオ会議ソリューションで 2012 年 6 月 Infocomm 2012 展示会にて発表されたもの。「COLLABORATE Desktop」「COLLABORATE Room」「COLLABORATE MCU」「COLLABORATE Netpoint」「COLLABORATE Central」から構成される。

(次ページへ続く)

セミナー・展示会情報

<国内>

【"見える"カレッジ】 Web会議 + Polycom
 ~ さらにスマートフォンやタブレット活用もご紹介 ~
 日時:3月7日(木)14:00~16:30
 会場:ブイキューブ本社(東京都目黒区)
 主催:株式会社ブイキューブ
 詳細・申込:<https://vcube.smktg.jp/public/seminar/view/45>

【"見える"カレッジ】
 映像 + 資料で伝えたいことが伝わるオンラインの情報発信術
 日時:3月13日(水)14:00~16:30
 会場:ブイキューブ本社(東京都目黒区)
 主催:株式会社ブイキューブ
 詳細・申込:<https://vcube.smktg.jp/public/seminar/view/46>

いろいろ使える! Web会議システム「アイシーキューブ」
 活用術ご紹介セミナー
 日時:3月14日(木)16:00~17:30
 会場:キャノンソフト情報システム 東京本社(天王洲アイル)
 主催:キャノンソフト情報システム株式会社
 詳細・申込:
<https://www.canon-js.co.jp/seminar/detail.cfm?no=1467>

【"見える"カレッジオンライン】
 Web会議サービスの活用メリットとは
 ~ スマートフォン・タブレットで使えるV-CUBEサービス ~
 日時:3月15日(金)14:00~15:00 (接続開始:13:50)
 会場:オンライン配信
 主催:株式会社ブイキューブ
 詳細・申込:<https://vcube.smktg.jp/public/seminar/view/43>

【"見える"カレッジオンライン】
 Web会議サービスの活用メリットとは
 ~ 研修・教育のオンライン化のすすめ ~
 日時:3月21日(木)14:00~15:00 (接続開始:13:50)
 会場:オンライン配信
 主催:株式会社ブイキューブ
 詳細・申込:<https://vcube.smktg.jp/public/seminar/view/44>

[ポリコム主催・体験会] Polycom Day
 ~ 最新ソリューションを定期的にご紹介 ~
 日時:3月から12月まで月1回開催
 15:30~16:30(開場:15:15)
 *但し、3月は、3月1日と22日の2回。4月以降は
 詳細確認。
 会場:ポリコムジャパン セミナールーム(東京都千代田区)
 主催:ポリコムジャパン株式会社
 詳細・申込:
<http://www.polycom.co.jp/company/events/index.html>

国内その他:<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

TeleSpan's Eighth Annual Future of Conferencing Workshop

日時:3月7日-3月8日
 会場:アメリカ ラスベガス
 主催:TeleSpan Publishing Corporation
 詳細:<http://www.telespan.com/workshop/index.html>

EnterpriseConnect 2013(旧 VoiceCon)

日時:3月18日~3月21日
 会場:アメリカ フロリダ州オーランド Gaylord Palms Resort & Convention Center
 主催:United Business Media company
 詳細・申込:<http://www.enterpriseconnect.com/orlando/>
 *会議システムメーカーで出展しているところもある。

海外その他:<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

定期レポート 電子ブック版

CNA レポート・ジャパンでは、2003 年から定期レポートを PDF 版で発行しておりますが、2012 年、カタログスクウェア株式会社に、定期レポートの電子ブック版を製作していただきました。

これまで定期レポート(PDF 版:2003 年から)については、1 号毎にファイルを開いて読む形でした。それに対して、電子ブック版では、複数の号が1冊にまとめられ雑誌のページをめくるように定期レポートが閲覧できるようになりました。また、記事内の検索もしやすくなりました。PC のほか、スマートフォン、タブレットから閲覧できます。

この電子ブック版は、これまでの1号単位の PDF 版と並行して提供します。

CNA Report Japan アーカイブ 電子ブック版

2003 年-2012 年

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

2013 年

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/ebook/

カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

*遠隔会議業界で長くお勤めされ、今年電子カタログ・ソリューションで起業された方が経営されている会社です。

*この電子ブック版についてご意見等ございましたらよろしく
 お願いいたします。橋本宛 cnar@cnar.jp

編集後記

今号もお読みいただきましてありがとうございます。

次号もよろしくお願ひ致します。 橋本啓介